

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語V	平成22年度	安本 雅彦	5	通年	学修単位 2	必

[授業のねらい]

TOEIC のテスト形式を通して、総合的な英語力を身につける。

[授業の内容]

全ての週の内容は、学習・教育目標(A)＜視野＞(C)＜英語＞および JABEE 基準 1(1)(a), (f)の項目に相当する。

前期

第1週 Introduction (ガイダンス)

英語力診断・授業の進め方・評価方法について

第2週 Unit 1 -1 (Listening)

At the Office (会社にて) 1 ビジネス用語

第3週 Unit 1-2 (Reading)

At the Office (会社にて) 2 動詞の形

第4週 Unit 2 -1 (Listening)

At a Restaurant (レストランにて) 1 飲食に関する表現

第5週 Review 1

第2-4週の復習・補足・確認

第6週 Unit 2 -2 (Reading)

At a Restaurant (レストランにて) 2 準動詞・品詞

第7週 Unit 3 -1 (Listening)

At a Hotel (ホテルにて) 1 宿泊に関する表現

第8週 中間試験

第9週 Unit 3 -2 (Reading)

At a Hotel (ホテルにて) 2 派生語

第10週 Unit 4 -1 (Listening)

At a Bank (銀行にて) 1 金銭に関する表現

第11週 Unit 4 -2 (Reading)

At a Bank (銀行にて) 2 修飾の構造

第12週 Review 2

第9-11週の復習・補足・確認

第13週 Unit 5 -1 (Listening)

At a Hospital (病院にて) 1 健康に関する表現

第14週 Unit 5 -2 (Listening)

At a Hospital (病院にて) 2 語形変化

第15週 Review 3

第13-14週の復習・補足・確認

後期

第1週 Unit 6 -1 (Listening)

At an Airport (空港にて) 1 旅行に関する表現

第2週 Unit 6 -1 (Reading)

At an Airport (空港にて) 2 態・数量表現

第3週 Unit 7 -1 (Listening)

At a Department Store (デパートにて) 1 買い物に関する表現

第4週 Review 4

第1-3週の復習・補足・確認

第5週 Unit 7 -2 (Reading)

At a Department Store (デパートにて) 2 接続詞

第6週 Unit 8 -1 (Listening)

At College (大学にて) 1 教育に関する表現

第7週 Unit 8 -2 (Reading)

At College (大学にて) 2 形容詞・副詞

第8週 中間試験

第9週 Unit 9 -1 (Listening)

Sightseeing (観光) 1 旅行に関する表現

第10週 Unit 9 -2 (Reading)

Sightseeing (観光) 2 比較

第11週 Unit 9 -1 (Listening)

Business Trip (出張) 1 出張に関する表現

第12週 Review 5

第9-11週の復習・補足・確認

第13週 Unit 9 -2 (Reading)

Business Trip (出張) 2 接頭辞と接尾辞

第14週 Unit 10 -1 (Listening)

Business Transactions (ビジネス) 1 業務に関する表現

第15週 Unit 10-2 (Reading) / Review6

Business Transactions (ビジネス) 2 email

並びに 第13-14週の復習・補足・確認

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語Ⅴ（つづき）	平成22年度	安本 雅彦	5	通年	学修単位2	必

<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一定の時間内に対象となる英文を聞いて/読んで、その主旨が理解できる。 2. テキストの英文についての設問に答えることができる。 3. 対象の英文の文法・構文・語彙を理解することができる。 4. 対象の英文に含まれる重要表現・語彙について、その英語を書くことができる。 5. 自分の意見を平易な英語で適切に表現することができる。 	
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>TOEIC で扱われるレベルの英文を理解し質問に正しく答えることができ、英文中に用いられた表現を使って英語で自分の意志を適切に伝えることができる。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の「知識・能力」1～5の習得の程度を定期試験並びに、小テスト、課題により評価する。評価における「知識・能力」の重みの目安は1～3を各20%、4、5を各15%とする。試験問題や課題のレベルは、百点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。</p>
<p>[注意事項] 規定の単位制に基づき、自己学習を前提として授業を進め、自己学習の成果を評価するために確認テストを行ない、課題提出を求めるので、日頃から自己学習に励むこと。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>英語Ⅰ～Ⅳで既習の語彙・語法・構文知識を前提とする。</p>	
<p>[自己学習] テキスト・授業ノート・配布プリントを整理し、重要表現・語彙を自分で使えるまで定着させておくこと。授業で保証する学習時間と、予習・復習（中間試験、定期試験、小テストのための学習も含む）及びレポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。</p>	
<p>教科書：“Prize Pointers for the TOEIC Test（南雲堂） および 授業内で配布するプリント教材</p> <p>参考書：（特に指定しないが、語彙増強のためCD付きの単語学習書を自分のレベルにあわせて購入することが望ましい）</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>中間、期末の2回の試験の平均点を60%、小テストの得点率平均を30%、課題の評価を10%として評価する。ただし、中間試験で60点に達していない者には再試験を課し、再試験の成績が中間試験の成績を上回った場合には、60点を上限として中間試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語 I	平成 2 2 年度	Mike Lawson	5	前期	学修単位 1	選

<p>[授業の目標]</p> <p>Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and English writing ability.</p>	
<p>[授業の内容] The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English> [JABEE Standard 1(1)f].</p> <p>Week:</p> <p>1 Introduction to the course: Course structure discussed. 2 Unit 1- Student days: Reading exercises from the text. 3 Unit 2- Studying abroad: Reading exercises from the text. 4 Unit 3- Alternative education: Reading exercises from the text. 5 Unit 4- Talking through problems: Reading exercises from the text. 6 Unit 6- That's our custom: Reading exercises from the text. 7 REVIEW: Review for Exam 1 8 MIDTERM EXAM: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."</p>	<p>Week:</p> <p>09 Unit 7- Musical memories: Reading exercises from the text. 10 Unit 8- Getting to the top: Reading exercises from the text. 11 Unit 9- Simply amazing: Reading exercises from the text. 12 Unit 10- What makes you happy?: Reading exercises from the text. 13 Unit 11- Help yourself to health: Reading exercises from the text. 14 Unit 12- Think positive!: Reading exercises from the text. 15 REVIEW: Review for exam 2</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. Students will improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.</p>	<p>2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "Student days", "Studying abroad", "Alternative education", "Talking through problems" "International cultural customs", "Musical memories", and "Thinking positively".</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>Students can improve their practical levels of English reading comprehension and English writing ability.</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments</p>
<p>[注意事項]</p> <p>Please visit my website (http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/ for fun English-learning activities. You may contact me at: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp,</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.</p>	
<p>[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.</p>	
<p>教科書:</p> <p>1. Text: Craven, Miles. <i>Reading Keys (Silver, Book A)</i>. Macmillan Languagehouse. 2003. 2. Subtext: A Japanese-English dictionary and an English grammar guide. 3. Material as distributed in class.</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>Grades will be based on the following percentages: 25% Midterm exam, 25% Final Exam, 25% Essays, 25% Homework.</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論 I	平成 2 2 年度	竹野富之	5	前期	学修単位 1	選

<p>[授業のねらい]</p> <p>グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。</p>	
<p>[授業の内容]</p> <p>全体の週において、教育目標 (A) (視野) (意欲) と、JABEE I (1) (a) 項目に該当する内容を講義する。</p> <p>第 1 週 イントロダクション</p> <p>第 2 週 文化とは何か(1)—西洋人にとっての異文化理解</p> <p>第 3 週 文化とは何か(2)—自民族中心主義について</p> <p>第 4 週 西洋哲学入門(1)—ギリシャ哲学</p> <p>第 5 週 西洋哲学入門(2)—啓蒙思想家</p> <p>第 6 週 西洋哲学入門(3)—近代哲学</p> <p>第 7 週 西洋哲学入門(4)—現代の西洋哲学</p> <p>第 8 週 中間試験</p>	<p>第 9 週 イスラームと欧米社会(1)—イスラームの教義</p> <p>第 1 0 週 イスラームと欧米社会(2)—イスラームの慣習</p> <p>第 1 1 週 イスラームと欧米社会(3)—欧米社会から見たイスラーム</p> <p>第 1 2 週 イスラームと欧米社会(4)—まとめ イスラーム</p> <p>第 1 3 週 何故イスラームと欧米社会は反発しあうのか</p> <p>第 1 4 週 国民国家とは何か(1)—印刷技術の発展と国民意識</p> <p>第 1 5 週 国民国家とは何か(2)—「想像の共同体」</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。</p> <p>2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。</p>	<p>3. 文化研究の方法論を知っている。</p> <p>4. 欧米諸国の文化の源であるキリスト教の影響を理解している。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の[知識・能力] 1～4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は1, 2, 4を30%, 3を10%とする。合計点60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらおう。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が45時間に相当する学習内容である。</p> <p>教科書：なし</p> <p>参考書：適宜紹介</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>前期中間、前期末の2回の試験の平均点を70%, 課題(レポート)30%として評価する。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>与えられたレポートを提出し、学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語 I	平成 2 2 年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 近年多くの企業が中国に進出し、英語に次ぐ外国語として、中国語の重要性も増してきている。正確な発音・基本的な文法を習得することにより、中国語による初歩的なコミュニケーションができることを目指す。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1) (a) の項目に相当する。

第 1 週 第 1 週 中国とは? 中国語とは? 簡体字 発音記号
 第 2 週 ①発音 声調、母音 (単母音・複母音)
 第 3 週 ②発音 n と ng 子音 (有気音・無気音)
 第 4 週 ③発音 子音 (そり舌音・zi, ci, si の音)
 第 5 週 ④発音 音韻表 声調変化
 第 6 週 発音実践練習 数 年月日 時間 年齢 金銭
 第 7 週 簡単なあいさつと自己紹介
 第 8 週 前期中間試験

第 9 週 第 1 課 述語が形容詞の文 否定と疑問
 第 1 0 週 第 1 課 練習 会話
 第 1 1 週 第 2 課 述語が動詞の文 疑問詞疑問文
 第 1 2 週 第 2 課 練習 会話
 第 1 3 週 第 3 課 “是” と所有の “有” 反復疑問文
 第 1 4 週 第 3 課 練習 会話
 第 1 5 週 まとめと復習

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 ピンイン表記を見て発音することができる。
- 2 基本的な単語を聞き取ることができる。
- 3 自分の名前を中国語で発音できる。
- 4 簡単なあいさつの会話ができる。

- 5 基本的な文型 (形容詞述語文, 動詞述語文, “是” と 所有の “有” の文) が理解し、運用できる。
- 6 疑問文・否定文が理解し、運用できる。

[この授業の達成目標]

中国語の発音表記の仕組みを理解しつつ、1 つ 1 つの音をきちんと発音することができ、また聞き取ることができると同時に、基本的な語順を理解し、簡単な文を作ることができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1 ~ 6 の習得の割合を中間試験, 期末試験, 口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100 点法により 60 点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属の CD を繰り返し聞き、発音練習をする事。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習 (中間試験, 定期試験 口答試験) に必要な標準的な学習時間の総計が、45 時間に相当する学習内容である。

教科書: 中国語 縁日はとてもにぎやか (郁文堂) 及び配布プリント

参考書: 授業時, 随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を 80%, 口答試験の結果を 20% として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題, 提出物を全て提出し、学業成績で 60 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語Ⅱ	平成22年度	Mike Lawson	5	後期	学修単位1	選

[授業のねらい]

Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and their English writing ability.

[授業の内容]

The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective>[JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>[JABEE Standard 1(1)f].

Week:

- 1 Introduction to the course: Course structure discussed.
- 2 Unit 13- The business of beauty: Reading exercises from the text.
- 3 Unit 14- A career in fashion: Reading exercises from the text.
- 4 Unit 15- The pressure to look good: Reading exercises from the text.
- 5 Unit 17- Fight for your rights: Reading exercises from the text.
- 6 Unit 18- Staying young: Reading exercises from the text.
- 7 REVIEW: Review for Exam 1

Week:

- 8 MIDTERM: Exam 1: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."
- 9 Unit 19- Seeing the world: Reading exercises from the text.
- 10 Unit 20- Time for a vacation: Reading exercises from the text.
- 11 Unit 21- Great explorers: Reading exercises from the text.
- 12 Unit 22- Male and female roles: Reading exercises from the text.
- 13 Unit 23- Women fighting back: Reading exercises from the text.
- 14 Unit 24- How different are we?: Reading exercises from the text.
- 15 REVIEW: Review for Exam 2

[この授業で習得する「知識・能力」]

Students will:

1. Improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.

2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "The business of beauty", "A career in fashion", "The pressure to look good", "Fight for your rights", "Staying young", "Seeing the world", "Time for a vacation", "Great explorers", "Male and female roles", "Women fighting back", and "How different are we?"

[この授業の達成目標]

Students can improve their practical levels of English reading comprehension and their English writing ability.

[達成目標の評価方法と基準]

Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments

[注意事項]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書: Craven, Miles. *Reading Keys (Silver, Book B)*. Macmillan Languagehouse. 2003.

参考書: Material as distributed in class. A Japanese-English dictionary and an English grammar guide.

[学業成績の評価方法および評価基準]

Students' levels of practical reading comprehension and English writing ability will be evaluated through 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension assignments. Grades will be based on the following percentages: Midterm Exam, 25% Final Exam, 25% Homework, 25% Essays.

[単位修得要件]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論Ⅱ	平成22年度	竹野富之	5	後期	学修単位 1	選

<p>[授業のねらい]</p> <p>グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。</p>	
<p>[授業の内容]</p> <p>全体の週において、教育目標(A)(視野)(意欲)と、JABEE I (1)(a)項目に該当する内容を講義する。</p> <p>【後期】</p> <p>第1週 西洋人のバリ文化理解(1)ーバリ島文化の紹介</p> <p>第2週 西洋人のバリ文化理解(2)ー楽園バリのイメージ</p> <p>第3週 西洋人のバリ文化理解(3)ーオランダによる植民地化</p> <p>第4週 西洋人のバリ文化理解(4)ー観光地産業の発展</p> <p>第5週 遊牧民文化とキリスト教(1)ー遊牧の技術</p> <p>第6週 遊牧民文化とキリスト教(2)ー去勢誘導羊の利用</p> <p>第7週 遊牧民文化とキリスト教(3)ーキリスト教と遊牧</p> <p>第8週 中間試験</p>	<p>第9週 アメリカ合衆国論(1)ープラグマティズム</p> <p>第10週 アメリカ合衆国論(2)ー競争社会、民主主義</p> <p>第11週 9.11以降のアメリカ合衆国(1)</p> <p>第12週 9.11以降のアメリカ合衆国(2)</p> <p>第13週 「文明の衝突」を考える(1)</p> <p>第14週 「文明の衝突」を考える(2)</p> <p>第15週 今後の日本とアメリカ合衆国の関係について</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。</p> <p>2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。</p>	<p>3. 文化研究の方法論を知っている。</p> <p>4. 欧米諸国の文化の源であるキリスト教の影響について理解している。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の[知識・能力]1～4を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は1, 2, 4を30%, 3を10%とする。合計点60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が45時間に相当する学習内容である。</p> <p>教科書：なし</p> <p>参考書：適宜紹介</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>後期中間、学年末の2回の試験の平均点を70%, 課題(レポート)30%として評価する。再試験は行わない。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>与えられたレポートを提出し、学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語Ⅱ	平成22年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 中国語Ⅰに引き続き、基本的文型と文法事項を習得し、簡単な日常会話ができることを目指す。あわせて中国の文化、社会事情を紹介することにより中国語に対する理解をより深める。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する。

第1週 第4課 所在の“在”と存在の“有” 選択疑問文
 第2週 第4課 練習 会話
 第3週 第5課 助動詞—可能 願望 義務 連動文
 第4週 第5課 練習 会話
 第5週 第6課 進行と完了 二重目的語をとる動詞
前置詞“給”
 第6週 第6課 練習 会話
 第7週 第7課 経験 比較 前置詞“在”“離”“從～到”
 第8週 後期中間試験

第9週 第7課 練習 会話
 第10週 第8課 状態の持続 様態の描写(様態補語)
 第11週 第8課 練習 会話
 第12週 第9課 方向・結果の複合動詞(方向補語 結果補語) “在”前置詞“把”
 第13週 第9課 練習 会話
 第14週 第10課 “快要～了” “是～的”
 第15週 第10課 練習 会話

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 所在の“在”と存在の“有”が理解でき、運用できる。
- 2 助動詞“能”“会”が理解でき、運用できる。
- 3 進行、完了、持続などのアスペクト表現が理解でき、運用できる。

- 4 比較、経験の表現が理解でき、運用できる。
- 5 基本的な単語(漢字)を見て発音することができる。
- 6 簡単な会話の聞き取りができる。

[この授業の達成目標]

各文法事項を理解し運用でき、中国語で基本的な日常会話ができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」]1～6の習得の度合を中間試験、期末試験、口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞き、発音練習をすること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインを見て発音することができる。基本文型(形容詞述語文、動詞述語文、是”と所有の“有”の文)が理解できる。)

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験)に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書：中国語 縁日はとてにぎやか(郁文堂)及び配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%、口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題、提出物を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。